

# 2018年度 3年 現代文B シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修/選択	対象学科	
現代文	3	3	全	必修	普通科	仲 里 有希世 印 上江洲 正 人 印 翁 長 良 尚 印

## 1. 概要及び目標

近代以降のさまざまな文章に触れ、日本の言語文化を享受し、現代の複雑な言語生活に適応できる認識力、思考力を伸ばし、個性豊かな人間として生きていくための国語の力を育成する。

## 2. 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

### (1) 定期テスト

- 学期ごとに中間考査・期末考査を実施する。但し、3学期は期末考査のみとする。
- 中間・期末考査は、授業内容を主とし、自主学習課題も範囲に加え、応用問題を含めて出題する。

### (2) 小テスト

- 授業の中で、適宜小テストを実施し学習意欲の向上を図るとともに、学習習慣や学習姿勢も観察し、指導する。

### (3) 提出物

- 授業の進度に応じた自宅学習課題の提出
- 長期休業中の課題の提出
- その他、意見文・ノート等の提出

### (4) 授業

- 授業への出席状況・主体的な学習姿勢を評価する。

## 3. 使用教科書・教材

- 教科書：「新編 現代文B 言葉の世界へ」 教育出版（現B 307）Ⅱ部
- 副教材：「クリアカラー国語便覧」数研出版

## 4. 授業の展開と形態

- 普通科10クラス すべて一斉授業

## 5. 学習方法

- 授業は進度表に沿って行い、適宜課題や小テストを実施して学習内容の定着を図る。
- ノート・課題等を適宜提出させる。

## 6. その他（履修上の注意）

- 成績評価は、定期テストを重視するが、授業態度・提出物の状況が悪い生徒については厳しく対応する。必要に応じて保護者に通知する。

月	単 元	教 材	内 容・留意点・【評価規準】
4月 ～ 5月	オリエンテーション		・学習における心構えや方法を理解する。
	評論一	「間」の感覚 高階秀爾	・対比を示す言葉に注意して具体例を探し、筆者がそれをどのように説明しているかを理解する。【発言・ノート整理・考査】
		「である」ことと「する」こと 丸山真男	・「である」「する」という二つの概念を的確に理解し、筆者の主張を把握する。【発言・ノート整理・考査】
表現	意見文を書こう	・意見文を書くことの意義と手順を理解する。【課題提出・発表】	
5月	中 間 考 査		
5月	小説一	菊 山川方夫	・女の行動と心理をたどり、作品のテーマについて考える。【グループ学習・ノート整理・考査】
5月 ～ 6月	小説一	土神と狐 宮沢賢治	・土神の行動と心理をたどり、作品のテーマについて考える。【発言・ノート整理・考査】
6月	期 末 考 査		
7月	詩	樹下の二人 高村光太郎 のちのおもひに 立原道造 鎮魂歌 木原孝一 表札 石垣りん	・レトリックの効果を手掛かりに、詩に表現された感情や思想を読み取る。【発言・ノート整理・考査・創作】
夏休み	課 題 （読書感想文・作文・創作文等）		
9月 ～ 10月	評論二	モード化する社会 鷺田清一	・現代社会と人間を捉える論理を学び、「モード化する社会」とはどのような構造を持つのかを考える。【発言・ノート整理・考査】
		欲望と資本主義 佐伯啓思	・筆者が「欲望」や「資本主義」をどのように考えているかを理解し、問題意識を明確に持つ。【発言・ノート整理・考査】
10月	中 間 考 査		
10月 ～ 11月	小説二	高瀬舟 森鷗外	・歴史小説を読み、日本の近代以降における人間の精神の問題について考える。【グループ学習・ノート整理・考査】
11月	期 末 考 査		
12月	評論三	ミロのビーナス 清岡卓行 ピカソへの挑戦―権威破碎の 弁証法 岡本太郎	・飛躍のある文章を理解する方法を学び、論の展開に沿って、芸術がどのような可能性を読者に開示するかを考える。 ・常識的な見方や考え方を打ち破る思考の方法を理解する。【発言・ノート整理・考査】
冬休み	課 題 等		
1月	小説三	鞆 安部公房	・寓意に着目しながら作品を読む。【発言・ノート整理・考査】
1月	学 年 末 考 査		
2月	小説三	掟の門 カフカ／池内紀 訳	・寓意に着目しながら作品を読む。【発言・ノート整理】